

鷓朋 KEKIHO 第15号



特集：同窓会

- 巻頭言 / 副会長 岩崎 泰典 1

- 特集:同窓会 / 三宅 成司郎 2
- 第1回工学部同窓会を開催 / 池田 良穂 3
- 鷗朋会—大阪府立大学工学部海洋システム工学科同窓会—のご報告
/ 中谷 直樹 4
- 30年ぶりの同窓会に参加して / 竹内 敏幸 5
- 府大OBとの語らい / 金城 周三 7

- 表紙絵を一覧してみました / 三宅 成司郎 8
- 報告:松野恭顕氏より教室に絵画の寄贈 / 定兼 廣行 11

学内情報

- 第1回大阪府立大学校友会評議員会の開催報告 / 定兼 廣行..... 12
- 水中ロボットフェスティバルを開催して / 有馬 正和 14
- 青少年サマーセミナー2009
—『海をもっと知ろう～海が地球を救う～』開催! / 片山 徹..... 17

- 理事会報告 / 平成20年度会計報告 18
- 会員録 update 20

- 編集後記

◆表紙絵◆

「山形県最上川」

池島 彊

(大学1期)

◆表紙デザイン◆

平岡 良介

(大学49期)

「鷗朋」編集委員 岸 光男(大学25期)竹田 太樹(大学30期)三宅 成司郎(大学30期)野口 利仁(大学33期)
池田 和外(大学35期)有馬 正和(大学37期)新里 英幸(大学44期)中谷 直樹(大学45期)
松山博志(大学45期)奥村 英晃(大学46期)

巻頭言

昨年10月より、「仕分け」が大流行である。TVで観る仕分け人と官僚とのやりとりには見入ってしまう。一般庶民からは考えられない、我々の生活とは遊離した何でと思うようなもの、今迄ブラックボックスであったものが次々と公にされている。我々が感ずる「無駄」が省かれつつあり、庶民目線の政治に近づきつつあるのでしょう。

しかし一方、「費用対効果が不明」「無駄」との理由で、科学技術立国として生き残りをかける我国に必要なものが切り捨てられていないでしょうか？世界一でなければ効果なしと本当に言い切れるのでしょうか？結果として世界3位になるやも知れないが、世界一を目指す為の長期にわたる泥臭い努力は評価されないのでしょうか？いくら金を積んでも、すばらしい結果が一朝一夕で叶う訳が無く、技術開発は日々の地道な努力の積み重ねがあつて初めて、すばらしい成果が得られ、努力の過程で目的とは全く異なるかも知れない大発明、大発見が生まれるのである。物事が全て解明されていないがために、人々は悶々として努力を続けるのである。将来大発見をする人物に、今、仕分け人に説明を求められれば、多分「費用対効果が不明」ゆえ「無駄」との烙印を押されるのでしょう。現時点で明確な成果説明なき物は無駄で、説明ある物は有益と単純には判断できない。研究、教育などは物ではなくその過程に大きな意味がある。全ての研究者が大発明、大発見を出来るのではなく、多数の研究者が精一杯努力をし、成果を出すのである。その内のほんの一握りの研究者の成果が注目を浴び、仕分け人が有益と認めるであろう、世界一や大発見、大発明となるのである。物有きの事柄と過程を伴い過程に意味がある事柄を同一レベルで評価してはならない。誰が観ても無用の長物である箱物は無駄であろうが、意味が見出される可能性を秘めた過程を伴う事柄に対しては、細やかな評価なしに単純に「無駄」と判断してはならない。最近、直近の利益の為に、長期に渡る過程を伴う、例えば研究開発や将来の我国を担う人々への教育等が軽視されていると感ずる。日本人の平均寿命が毎年伸び、世界トップレベルであることを考えれば、以前にも増して長期展望に立脚した、短期的には無駄のようには見えないうために現時点では明確な成果説明ができないが、大きな可能性を秘めた事柄へ投資できる太腹がなければならぬ。短絡な判断だけでは国を滅ぼしかねない。

太腹と言え、私自身は自分の腹周りを見て、仕分け人から小遣いが「無駄」と判定されないように意味づけを考えねばなるまい。



副会長 岩崎 泰典(大学20期)

今号は、「同窓会」を特集してみました。初めて開催されました工学部の同窓会、賜朋会同窓会、各期の同窓会および地域の同窓生方の集まり(今回は岡山県の玉野)、にて寄稿頂きました。皆様、お忙しいところ執筆頂きありがとうございました。

私事ですが、工学部同窓会にて他学科の先輩に久しぶりにお会いできました。勤務先で公私にわたってお世話になった方なのですが、別学科の方で定年退職されてからはお会いする機会がないままでした。「もしかしたら来られているかな？」と期待していましたが、先輩も私に来ていないかと気に掛けてくれたとのこと。お互い元気なことが確認でき、参加して良かったと思っています。

賜朋会同窓会は、ホテルで行われました。立食形式だろうと思っていましたが、豈図らんや大きな円卓で着席形式でしたので、最近腰痛気味の身にとってはラッキーでした。奥野学長から、生々しい大学の現状をお聞きすることができました。ちょっと大げさに言いますと、存亡を掛けたりぎりの攻防戦のお話し。

大学 24 期の方々が、30 年ぶりに大学に集合・再会されました。大学の様変わりに驚かれたようですが、それ以上に自分たちのお互いの様変わりをじっくりと噛みしめられた様子がよくわかります。久々の再会も、何かと楽しい

ものですね。長らく同窓会を開いていないあるいは卒業後いまだ同窓会をやっておられない期の方々、この機会に至急段取りつけて同窓会をやって下さい。

岡山・玉野の玉百舌鳥会から、便りが来ました。結構頻繁に飲み会をやっておられるとのこと、そこは貴重な情報交換の場となっているようです。岡山は、吉備団子・桃・マスカット、美味しいものが一杯ですね。以前に旅行に行った「日本のエーゲ海」と呼ばれる温暖・風光明媚な牛窓も岡山県です。(泊まりに行ったその日は台風で停電でしたが、それもまた一興。)そう言えば、昔に良く読んだ横溝正史の金田一耕助探偵シリーズのおどろおどろしい舞台の多くは岡山でしたねえ。

最後に、連絡事項です。既にご存じの方もたくさんおられると思いますが、中百舌鳥門とその周辺が写真のおおりに見違えるほどきれいになりました。中百舌鳥門の奥の左手に見えるのがサイエンス棟です。確か、かつては化学工学・応用化学・金属工学科等の棟があった場所だったと記憶していますが、立派な建物ができたものです。中百舌鳥駅方面から府立大学へ向かった時には、驚かないで下さい。

前振りはこれくらいにして、では特集「同窓会」をお楽しみ下さい。



大阪府立大学工学部同窓会ホームページより

～第1回工学部同窓会を開催～

大学 21 期 池田良穂

工学部同窓会は、工学部の各学科同窓会(以下単位同窓会)の集合体として設立され、各単位同窓会の会長と学内副会長が理事として出ています。設立された頃には、全学の同窓会会員名簿を作成・発行することが主要な目的とされていましたが、個人情報保護法の影響もあって全学の同窓会名簿の発行も難しくなり、ここ数年は、年一回の理事会の開催、各単位学科の成績優秀者の表彰活動(記念品授与)だけを細々と続けてきていました。

工学部同窓会は、会費の徴収はしていませんが、会員名簿を発行していた頃の利益が 1800 万円ほど残っており、これを各単位同窓会の活動活発化のために使ってはどうかということになり、今回の工学部同窓会の開催ということと相成りました。

11 月 2 日、白鷺祭の開催日と合わせて開催することが決

まり、各単位同窓会にもこの開催に合わせての単位同窓会をもつよう呼びかけたところ、賜朋会の他、航空、化工などの単位同窓会が同時に開催される運びとなりました。

当日は生憎の大雨でしたが、大学内の新しい総合教育棟(昔の教養課程に相当します)の大教室に 200 名余りの同窓生が集まり、安保理事(応化卒)、辻川工学研究科長(航空卒)および林工学部同窓会会長(電気卒)の講演を拝聴しました。

その後、改装した生協の食堂でカクテルパーティが開催されました。工学部同窓会の副会長の挨拶、乾杯に続いて 40 分ほどの歓談の後、駆けつけた奥野学長の挨拶でめくられました。その後、賜朋会はリーガロイヤルホテルに会場を移して、奥野学長を囲んだ会を開催しました(次ページの報告参照)。



工学部同窓会会場風景



カクテルパーティ風景



工学部同窓会では、ホームページをリニューアルしましたので、ぜひ一度ご覧下さい。

<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/eng/note/20040207.html>

2009年11月1日(日)に、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、第1回工学部同窓会が開催されることにあわせまして、「鷗朋会 - 大阪府立大学工学部海洋システム工学科同窓会 -」を、午後6時30分よりリーガロイヤルホテル堺 春慶の間において開催いたしました。当日は、あいにくの天気の中、同窓生を中心に在校生も含めて73名の方々に、出席いただきました。その同窓会の様子について報告させていただきます。



定兼鷗朋会会長より、久しぶりの再会を楽しむともに、奥野先生が大阪府立大学の学長に4月から就任されたことに触れ、本学科からの輩出は赤崎繁先生以来のことであり、同窓生として大学を支えていきましょうとのご挨拶があり、その後、池田先生の乾杯によって会が早々にスタートしました。集まった皆さんは、それぞれの近況報告や懐かしい思い出話に花を咲かせ、盛り上がったところで、在学生からの企画ということで、現在の海洋システム工学科の現状をスライドで紹介されると同時に、在校生から奥野先生に対して、学長ご

就任お祝いメッセージが送られ、そこから会は奥野先生のご就任祝賀会ムードへと変わり、各期の同窓生がお祝いのため奥野先生を取り囲んでおりました。会も一段落したころ、奥野先生の教え子を代表して大学35期の友國裕弘様からお祝いと感謝の言葉が述べられ、その次に、奥野先生からのご挨拶をいただきました。そこでは、同窓会でしか話せないような大阪府立大学の真の現状についてご説明があり、同窓生への感謝の気持ちを述べられるとともに、大学を末永く支えてくださいといったお願いのお言葉がありました。その後、大学20期の岩崎鷗朋会副会長から奥野先生に記念品が、またOGの大学52期高倉このみ様、中林恵美子様、養父碧様から花束が贈呈され、盛大な拍手を持って閉会になりました。



30年ぶりの同窓会に参加して

大学24期 竹内敏幸

このたびの奥野先生の学長ご就任、まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私は、昭和51年3月に船舶工学科(第2講座)を卒業し、53年に修士課程(第1講座)を修了しました竹内と申します。少し自己紹介をさせていただきますと、その後造船所に就職するも造船不況で離職し、教員免許を取得すべく再び聴講生として府大に通学しました。その時も、研究室の皆様には暖かく接していただきました。そういった関係で、入学年度を越えた多くの船舶工学科同窓生の皆様に親しくしていただくとともに、多くの教職員の皆様にお世話になりましたことを深く感謝しております。私は今、山口県の高校教員として奉職し、校長職を仰せつかっております。多忙な日々がありますが、魂のベースは船にあります。毎年「柳川ソーラーボート大会」に、チームの一員として、1秒を短縮する工夫を凝らして出場し、船を愛する同好の士(府大同窓生も幾人か参加しております)と語り、旧交を温める事を楽しみにしております。

自己紹介が長くなりましたが、今回の同窓会開催の経緯を述べさせていただきます。実は昨年くらいから、「我々も人生の一山を越えたころだ。まだまだ第一線で活躍中の者もいるが、爺さん(孫ができた)になった者もいる。第二の人生に踏み出した者もいる。一回同窓会を開きたいね。」と言うことで藤原さんを中心に準備が進められていました。そこに今回の奥野先生の学長就任というビッグニュースが飛び込んできたわけです。じゃあこれを祝して30数年ぶりに同窓会を開催しよう。大義名分、きっかけが出来たと思った訳です。しかし、考えてみるとなぜ、船舶47年度入学生なのか(いず

れ、賜朋会全体の祝賀会もあるだろう)、幹事の藤原さんが賜朋会の理事をしてくれており奥野先生に近いのか。やはり奥野先生の人柄で、この慶事を心からお祝いしたい。そして、船舶というコスモポリタンの考えが府大をリードする時代が到来した喜びを語りたい。等々の思いを込めて、これを機会に30年ぶりの同窓会を開こうと言ったノリであったと思います。

平成21年5月2日(土)に府大海洋システム工学科会議室で大学の近況説明と見学をさせていただき、その後大阪市内で懇親会の運びとなりました。

時間設定は3時からであったと思います。それに間に合わすべく、延伸なった地下鉄御堂筋線「なかもず駅」で降りました。大きく変わったなあ。この洋食屋でよくメシ食ったな。私の前に、白い帽子をかぶったおじさんが、同じくキョロキョロしながら歩いている。ちらっと顔が見えたけど不審者とか見えない。(失礼)曲がったぞ。良かった良かった。カツ玉大とみそ汁の、何て名前の店だったかな。と思いつつ中百舌鳥門に到達しました。信号待ちをしていたら先ほどのおじさんが来たのです。「失礼ですが、府大船舶の同窓会に行っているんですか。」「俺だ〜。(聞き覚えのある名古屋弁)」「あの犬山城の(具体的に出身地以上の事を急に思い出す)渡邊君か?」30年ぶりとはこういうものなのです。

更に徳田君にいたってはひどいものでした。本日の出席者はみんなに予めメールで伝わっています。私は学生時の講義を受けるときとは違って、開会の時間よりも少し早く到着し、会議室で座って、以後の到着者と歓談していました。徳田君はギリギリに到着して着席し、出席者を例の大きな目

で見渡しました。彼の到着を待って池田先生が近況説明を始めようとされたその時です。「あれ、まだ、竹内君が来てないね。」と発言し、一同爆笑の渦となりました。クラブも一緒に、あれだけ近い関係にあったにも関わらず、徳田君は座っている私を見て、府大の教員と思っていたそうです。30年ぶりの再会、30年の年月をしみじみと感じつつも、30年ぶりの同窓会のありがたさをいつまでもほくそ笑みながら噛みしめました。

池田先生による海洋システム工学科の近況説明をお聞きし、思い出話に花が咲きました。それよりもこの会議室。レンガ造りの兵学校の中のようなトイレ。何よりも、この懐かしい校舎がどの建物よりも耐震強度があると言うことで、タイムカプセルのように今も現存している不思議。校舎内の見学では、あの威容を誇った回流水槽は今ほとんど使われてなく、平野先生と毎晩イルカの尾ヒレと格闘した古びた曳航水槽は今や高速専用の実験水槽として新たな役割を担っていました。また、どこの言葉か知りませんが、ガタロを着て操縦性の実験をした府大池は見る影もなく、10年一昔、30年大

昔を振り返りながら府大を後にしたのです。

夜は場所を変えて懇親会を開きました。21歳から22歳の自分の青春時代に帰り、大いに盛り上がりました。集まったメンバーで今も船でメシを食っているのは川端君のみという事実と、造船界の変遷も話題の一つでした。

私たちの大学時代は、田口教授、菱田教授、福本教授、田中教授の時代で、多くの有能な先生方が揃われていました。今では物故者となられた先生方もおられますが、(私はこの同窓会誌に平野先生の追悼手記を掲載していただきました)そういった先生方との思い出話にも花が咲きました。物故者となられた先生方には哀悼の意を表します。

最後に改めて、奥野先生の学長ご就任に祝意を表します。新生府立大学と大学教育の発展のための重責は奥野先生ならできるし、奥野先生しかできないという付託であると思います。賜朋会みんなの後押しをし、エールを送るものであります。

大阪府立大学のますますの御発展と、恩師を含む賜朋会諸氏のますますの御健勝を祈念申し上げます。



大学24期生(阪本 川端 渡邊 宮本 竹内 藤原) 撮影 徳田

大阪府立大学を卒業し、三井造船(玉野事業所艦船建造部内業課)に入社して早 2 年がたとうとしています。在学中には、坪郷准教授をはじめとする先生方に多大はご迷惑をおかけしましたが、一社会人として少しは会社に貢献できていると思います。

私が配属された先は艦船建造部船殻課、いわゆる現場のスタッフ(船殻担当)でした。現場の作業など、全く知らないずぶの素人ですが、入社した時点でやる仕事は決まっていました。「ましゅう」以来の建造となる防衛省殿向け艦艇「19AGS」の船殻担当でした。入社した年からいきなり艦艇担当という重役を任されたうれしさ、やりがいと不安(実際はほとんど感じなかったのですが)とが織り交ざった気持ちで、加工開始である平成 20 年 10 月までの約半年間を様々な知識・経験を積みながら過ごしました。

建造開始が近づくにつれ続々と検査官が着任されていく中、一番最後に着任されたのが 19AGS 主任検査官であった井上 2 等海佐(当時)でした。着任前から、大学の先輩(大学 26 期)であることはいわさで聞いていました。着任された井上さんは非常に厳しい検査官でした。人柱となって怒りをしずめてこいなどと会社側に言われたりもしましたが、私や他部署の若手担当者には、非常に丁寧に、そして熱心に接していただきました。また、様々な宿題を出すことで私たちの技術者としての力を引き上げようとしてくれました。

加工開始から進水までの約 10 ヶ月の間、色々紆余曲折はありましたが、平成 21 年 6 月 29 日に無事進水命名式を迎えることができました。艦名は「しょうなん」。進水時にしょうなんの上で井上さんと撮った記念撮影は、初担当船ということもあいまって感無量でした。現在、しょうなんは平成 22 年 3 月引渡しに向け、海上公試をはじめとする様々な工事を順調に進めています。三井造船玉野事業所では府大 OB による玉百舌鳥会という集まり(飲み会)を定期的実施しています。入社した際、玉百舌鳥会で歓迎会を開いてもら

って以来ずっと幹事をしていますが、私が幹事になってから飲み会の回数が倍になったともっぱらの評判です。玉百舌鳥会も一時期の参加者 2 名という極寒の時代を乗り越え、今や参加者が 10 名にも達するまでになりました。飲み会の中で交わされる会話のほとんどは世間話ですが、たまに交わされる真面目な船の話などは、非常に有益な情報交換となっています。このまま後輩を増やし続け、玉野事業所での最大派閥を形成すべく毎年工場見学には最大限注力していくつもりです。

井上主任検査官が着任された折にも、玉百舌鳥会にて歓迎会を開きました。写真はその時のものです。会社周辺ではわりと洒落た店である「花邑」にて行いました。残念ながら日程があわない OB が多く少人数での歓迎会になってしまいましたが、今まで建造に携わってきた艦艇の話や船の今後などで非常に盛り上がりました。

弊社ではまだ手持ち工事も多く高操業での運営となっていますが、先のリーマンショック以降の景気落ち込みによる影響が今後出てくると思います。しかし、そのような逆境でこそ我々府大 OB の底力を見せつけるべく邁進していきたいと思っています。



(前列左より) 山口, 金城 (後列左より) 落, 三宅, 井上

表紙絵を一覧してみました

編集委員長 三宅 成司郎(大学30期)

1. まずは、お礼

同窓会誌「鴉朋」は、新生号が平成13年8月31日に発刊され今号で15号になります。その間、皆様から寄稿いただいた原稿は歴代の事務局・編集委員が丁寧に編集して参りました。表紙絵については、「できるならば発刊季節や内容にあったものを・・・。」という方針に基づいて、お預かりしている作品群の中から選定してきました。皆様の大切な力作をお送り頂き、誠にありがとうございます。本誌面をお借りして、表紙絵を提供頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

しかしながら、号が進むにつれてそのストックも徐々に寂しくなり、「このままではバラエティに富んだ表紙絵選定が難しくなる！」と思い、昨年の理事会にて表紙絵のストック状況を説明しました。その場で、「大学1期の池島彊さんをお願いしてみようか？」とのアドバイスを頂き、早速に池島様に連絡を取ったところ、作品提供を快諾頂きました。池島様にお送り頂いた作品は、何と！絵画39作品・写真63作品、と大量なものでした。「これで、私が編集委員長をしている間の表紙絵は安泰だ！！」と知らず知らずに笑みがこぼれてきたことを記憶しています。

池島様には、同窓会誌に何度となく寄稿いただいております。(「ふね」;21・22号、「会誌」;8号、「鴉朋」;新生号。一部は、鴉朋会ホームページに掲載されていますのでご覧下さい。)浪速大学開校第一期生として入学され、サッカー部に所属し、スポーツに勉強にと青春時代を謳歌されていたとのこと。(「ふね」21号、「オンボロ青春時代」より)

今号は早速ですが、池島さんにお送り頂いたたくさんの作品の中から「山形県・最上川」を表紙絵に使わせて頂くことに決めました。芭蕉の句、「五月雨を集めてはやし最上川」にある日本三急流の一つと言われる最上川を題材とした作品です。どの辺りなのでしょうね。表紙絵として、初のモノクロです。渋く出来上がると思います。

2. 鴉朋・表紙絵一覧

新生号から今号までの鴉朋・表紙絵作品の作者とタイトルを、一覧表にしてみました。各作品を今一度並べて拝見しますと、作者の個性が作品に滲み出るようで、各人の作風が違っているのが良くわかります。パステルカラーで軽やかな白草さん、幻想的な牧野さん、緻密で写実的な平岡さん、ほのぼのとした色調の岡田先生、そして重厚なタッチの小嶋さん。

表紙・裏表紙デザインは<鴉朋;ケキホウ>にちなんで「鴉;モズ」を散りばめたかわいい(?)ものです。モズの目の表情が、それぞれ違っています。

今後は新しい試みも取り入れながら、表紙共々充実した誌面編集に邁進しますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。鴉朋の表紙に使わせて頂ける作品がありましたら、鴉朋会事務局までご連絡下さい。よろしくご願ひ申し上げます。

鴉朋・ 会誌号	発行年月日	作者	造船・ 大学期	タイトル
	—	平岡良介	大学49期	鴉朋表紙デザイン
1	2001.08.31	白草俊也	大学25期	大正区 内港
2	2002.03.10	牧野功治	大学41期	MOSAIC
3	2002.09.30	牧野功治	大学41期	オランダ坂
4	2003.03.28	平岡良介	大学49期	路地
5	2003.10.10	平岡良介	大学49期	小舟
6	2004.03.01	牧野功治	大学41期	浮御堂
7	2005.01.20	白草俊也	大学25期	大阪市消防局 消防艇「なみはや」
会誌 第9号	2005.12.01	小嶋貞二	大学21期	舟屋夕景
		松本一平	大学43期	会誌表紙デザイン
8	2006.04.01	岡田博雄	大学12期	緑陰の滝 <牛滝川、H17.6.7>
9	2006.09.01	岡田博雄	大学12期	散歩道
10	2007.03.25	牧野功治	大学41期	沖縄の海
11	2007.10.31	白草俊也	大学25期	ハット神戸にて
12	2008.04.01	岡田博雄	大学12期	桜咲く水辺
13	2008.10.25	牧野功治	大学41期	子鹿
14	2009.06.30	岡田博雄	大学12期	緑の棚田(堺市内)
15	2010.02	池島彊	大学1期	山形県・最上川



新生号 (大正区内港)



鴟朋第 12 号 (桜咲く水辺)



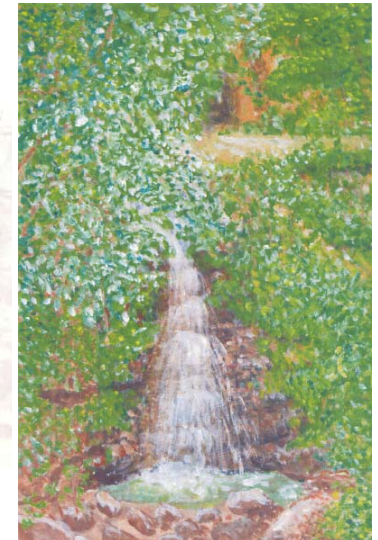
鴟朋第 3 号 (オランダ坂)



鴟朋第 4 号 (無題)



鴟朋第 7 号 (消防艇「なみはや」)



鴟朋第 8 号 (緑陰の滝)



鴟朋第 5 号 (無題)



鴟朋第 2 号 (MOSAIC)



会誌表紙デザイン一部



鴟朋第 6 号 (浮御堂)



鴟朋第 9 号 (散歩道)



鴟朋第 13 号 (子鹿)



会誌第 9 号 (舟屋夕景)



鴟朋第 10 号 (沖縄の海)



鴟朋第 11 号 (ハット神戸にて)



鴟朋第 14 号 (緑の棚田 (堺市内))



表紙デザイナー部

昨年、松野恭顕氏(大学 16 期, 雅号:松野平助)から自作絵画を寄贈頂きましたのでご報告致します。画題は神戸港・ホテル横のバースから出航する客船で、タイトルが『出港(昼の飛鳥Ⅱー中突堤)』(額寸法:約 60x70cm)です。

<松野恭顕氏の横顔紹介>

学生時代から絵画やマンガ画きの才を発揮。当時の笠戸船渠(株)に入社後も絵を続け、マンガは社内報に連載。同窓会誌には「岩佐先生退職記念」号(1969, 昭 44)に先生の肖像デッサン画と新旧造船屋のマンガを掲載。現在は東京に移住し、活動・活躍中。追録:卒業研究は、第一講座河合忠夫先生の研究室。

海洋システム工学科会議室(A6 棟 2 階 206 号室)に飾らせて頂きましたので、大学にお越しの節は是非ご覧下さい。



タイトル;『出港(昼の飛鳥Ⅱー中突堤)』 寄贈者:松野恭顕氏 (大学 16 期)

第1回大阪府立大学校友会評議員会の開催報告

鷗朋会会長 定兼廣行(大学15期)

これまでニューズレター第6号(2009.4.1発行)や「鷗朋」14号(2009.6.30発行)で、全学同窓会の校友会(仮称)への移行が審議されていること等を速報でお知らせしました。その後、開催された臨時理事会(2009.4と同8)でこの新組織への移行が決まり、会則等が審議されました。この過程で、会の名称が校友会(仮称)から「校友会」に変更され、これが正式名称となりました。そして2009年9月13日に中百舌鳥キャンパスのサイエンスホールで校友会の第1回評議員会が理事会と同時に開催され、校友会(以下、本会と略称)がスタートしました。以下に、今回の評議員会で報告・協議された事項を議事録から摘記し、また部分的に補足を加えてご報告します。

[I] 報告事項

臨時理事会以降の新規加入同窓会、評議員の交代、大阪府立大学全学同窓会からの資産の引継ぎが報告された。資産の引継ぎについては、大学創立50周年記念募金事業の経緯と現在の特別会計残高(約1,409万円)が報告され、この資産は今後募金事業の趣旨をふまえて4~5年後の創基130周年と大学創立65周年の節目に活用を検討する。また、このことについては募金者に報告したい旨の説明があった。

[II] 協議事項

1. 「本会会則」及び「本会個人情報保護方針」の施行について

会則の説明、会則への語句の追記、及び新規加入同窓会の追記とこれによる評議員人数の変更が了承された。また個人情報保護方針の説明があり、了承された。これらは当日より施行されることとなった。

2. 本会役員

大阪府立大学全学同窓会の現役員が最初の本会役員となること、また、副会長を4名とし斐文会と白鳥会から1名ずつが加わる旨の説明があり、いずれも了承された。

3. その他

(1)平成21年度の事業計画について

本会の主要財源は、来年度の新入学生が納入する会費となるため、新規事業は、来年度からとする。また新規事業を検討するため、「卒業生ネットワーク準備会議」と同メンバーで、「事業計画企画委員会」を設置することが了承された。当委員会は、大学が6名、本会が6名、及び事務局2名で構成される。

(2)本会への移行に関する周知

全学同窓会のホームページを本会のものにできるだけ早く変更し、本会への移行について広報する。

[補足説明]

(1)全学同窓会理事会の開催歴と協議概要

・'08年度定例理事会('09.2.15) 卒業生ネットワークの構築案の説明。全学同窓会を発展的に解消して新組織を設立する方向で合意。

・臨時理事会('09.4.26) 校友会(仮称)の会則(案)が提案。種々の質問あり、次回までに執行部が検討。全学同窓会を校友会(仮称)に移行することについて基本的に賛同。

・臨時理事会('09.8.1) (1)「大阪府立大学 **校友会**」が正式名称に承認(「校友会」は既使用の単位同窓会があり、変更)。(2)再提案の会則が一部修正のうえ承認。後日開催の第1回校友会評議員会で報告、施行の運び。(3)創立50周年事業募金で得た資産の引継ぎ、説明は第1回校友会評議員会で行う。

その他、個人情報保護方針(案)の承認。役員:会長、副

会長、理事、監事、及び評議員には現全学同窓会の会長・執行部、監事及び理事があたる。ただし副会長は、府立系3大学の統合を示すため斐文会(女子大)と白鳥会(看護短期大)から各1名が加わる。

(2) 本会の目的と事業(会則からの抜粋)

大阪府立大学と各学部・研究科、地域等の同窓会及び会員との連携並びに会員相互の親睦を図ること、また、会員が大阪府立大学の良き理解者として大学の発展を支援する。

このために、次の事業を行う。(1)大学と会員間及び会員相互の交流並びに会員相互間の親睦に関する事業 (2)講演会、懇話会の開催 (3)会員への情報の提供 (4)名簿管理システムによる会員情報の維持管理 (5)会員の所属する同窓会等へのサービス及び情報の提供 (6)大阪府立大学への支援事業 (7)その他本会の目的達成に必要な事業

(3) 本会の会員等(会則の抜粋要約)

正会員:(イ)大阪府立大学・大阪女子大学・大阪府立看護短期大学(これらの前身校全てを含む。)の卒業生・修了生 (ロ)大阪府立大学等の在学学生 (ハ)大阪府立大学の役員・教職員(退職者を含む) (ニ)その他大学等に関係あると会長が認めた個人と団体会費:現会員は納付不要。

(4) 本会の事務局

公立大学法人大阪府立大学総務部総務課内に置く。

(5) 本会関連の詳細情報の入手先

大阪府立大学校友会のホームページ

<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp>



同窓会ニュース鴟朋16号への原稿募集



今春、同窓会ニュース鴟朋(けきほう)第16号を発行の予定です。みなさまからのご投稿が主役です。ぜひご応募ください。

自由課題: 自由なテーマでお書きください。

分量: 2000字程度を標準としますが、柔軟に対応します。

原稿は、郵便(原稿用紙やフロッピーディスク)、ファックス、電子メールなどで お送りください。

・写真やイラストつきの原稿も大歓迎です。

・書式は問いません。

締切: 平成22年4月末

宛先: 〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付 鴟朋会事務局

TEL/FAX: 072-254-9914 E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

— 水中ロボットフェスティバルを開催して —

水中ロボットフェスティバル実行委員会 幹事 有馬 正和(大学 37 期)

去る平成 21 年 5 月 31 日(日), 海上自衛隊阪神基地隊(兵庫県神戸市東灘区)の屋内プール(長さ 50 m, 深さ 1.8 m)において, 「第 3 回水中ロボットフェスティバル(水中ロボフェス 2009)」(主催: 水中ロボコン推進会議, MTS (Marine Technology Society) 日本支部, IEEE/OES (Oceanic Engineering Society) 日本支部, (社) 日本船舶海洋工学会)を開催した. このイベントの目的は, 海で活躍する水中ロボットを間近に見たり, 魚型ロボットを製作・プログラミングすることによって, 青少年に水中ロボットの動きやしぐみを理解してもらい, 水中ロボットの果たす役割や重要性, ものづくりの楽しさを知って船舶海洋工学・水中技術への関心を高めてもらうとともに, 水中技術に係る技術者・研究者の交流を深めてネットワークの構築を図ることである. フェスティバルでは, (1) AUV(自律型水中ロボット)部門, フリースタイル部門, アクアロボット部門の水中ロボット競技会, (2) 水中ロボットの展示・デモンストレーション, (3) 水中ラジコン/カメラ付き ROV(有索式水中ロボット)の体験操縦を行った. 水中ロボット競技会の各部門の競技規則および結果は以下の通りである.



客席からAUV部門競技を観戦する見学者

■ AUV部門 競技規則

競技は全部で4つのステージから構成される. それぞれのステージにスタートポイントが設置される. それぞれのステージの合計点数をもって順位を決定する.

・ステージ1は, ロボットの紹介(簡単な性能, 技術について)をする. 競技参加者及び一般向けに, 5分程度のロボットの紹介を行う(紹介の内容はロボットの名称, サイズ, 重量, 仕様, 特徴など). 一般の方が理解できるように説明が望ましい.



AUV部門ロボット勢揃い

・ステージ2は, プール内に設置されたゲートを通る. スタート地点より競技を開始する. 競技時間を10分(ロボットの投入時間を含む)とする. プール内3か所に設置されたゲートを連続で通過したらミッションクリアとする. ゲートの色は黄色とする. 制限時間内は何度でもチャレンジしてよい. ただし, 競技はスタート地点から行うこと. 最終的な得点は, チャレンジしたなかで最も高得点を採用する. ミッションクリア時に残った時間は, 1分(1分未満は切り捨て)につき10点のボーナスポイントとする. ゲートに接触したと判断された場合は, 1回につき5点の減点とする.

・ステージ3 は、プール底面に設置されたラインをトラッキングする。

スタート地点より競技を開始する。競技時間を10分(ロボットの投入時間を含む)とする。プール内に設置されたライン(幅5cmの赤線)をトラッキングする。ラインを全てトラッキングできたらミッションクリアとする。ミッションクリア時に残った時間は、1分(1分未満は切り捨て)につき10点のボーナスポイントとする。Way Point を定めた経路計画に基づく航法以外の航法(画像処理や赤外線など)を用いることが望ましい。従って経路計画に基づく航法を採用する場合は、自己申告の上、減点5点とする。

・ボーナスステージは、自由演技を行いロボットのもつ技術や性能をアピールする。

最大10分間の演技時間(ロボットの投入時間を含む)で、ロボットを用いたデモンストレーションを行い、技術やオリジナリティのアピールを行う。得点は、技術点10点(動き及び実用性を重視)、表現点10点(オリジナリティを重視)の20点満点とする。

■AUV部門【IEEE/OES日本支部賞】(エントリー:5台)

- 第1位 DaryaBird(九州工業大学)
- 第2位 HAL ウラボ(東京大学)
- 第3位 AquaBoxⅢ(九州工業大学)



■フリースタイル部門 競技規則

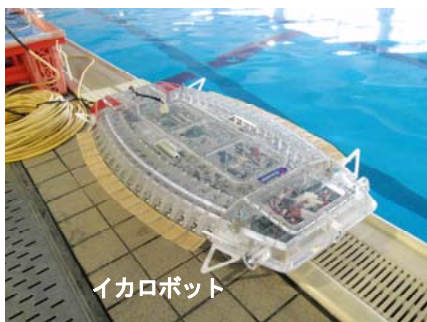
各ロボットを5分間程度、プール内を自由に遊泳させて、ロボットデザインのユニークさ(芸術点)、運動の特性(技術点)等を、審査員の採点により総合的に評価する。

遊泳においては、前進、旋回、浮沈の基本要素(基本演技)、及び、後進、スピン、ジャンプ等の独自要素(オプション演技)を盛り込み、開発関係者がマイクにて、特長を説明しながら演技を行う。

複数の審査員の採点により、優秀なロボットに賞を与える。

■フリースタイル部門【MTS 日本支部賞】(エントリー:12台)

- 第1位 イカロロボット(大阪大学)
- 第2位 FC robofish(大阪市立大学)
- 第3位 PLATYPUS(大阪大学)
- 第3位 およぎタイ(大阪市立大学)



■アクアロボット部門 競技規則

長さ 2 m, 幅 1 m, 高さ 0.4 m のプールフロアを 8 個プールに設置し, 長さ 4 m, 幅 2 m, 高さ 0.8 m の仮底を作ります. その水深は約 0.6 m である. その仮底の上に, 白いビニールシートを張り, その上にトラックを黒テープで描きます. このトラックに沿ってアクアロボットを 2 周させ, かかった時間で競争します.

■アクアロボット部門【日本船舶海洋工学会賞】(エントリー: 4 チーム) 第 1 位 奈良高専 B チーム



水中ロボットの競技会は, 平成 18 年 10 月に Techno-Ocean2006 のイベントとして「第 1 回水中ロボットフェスティバル」を開催して以来, 神戸の「水中ロボフェス」と東京の「水中ロボコン(水中ロボットコンベンション)」を交互に開催してきた. 競技規則に基づくコンテストは, 平成 19 年 12 月の「第 2 回水中ロボットフェスティバル」で初めて取り入れられたが, そのときはゲート通過などの課題をやり遂げた AUV は一台もなかった. 回を重ねるにつれて少しずつ進歩が見られるようになってきたが, 今回は, 前回の水中ロボコン in 辰巳'08(平成 20 年 11 月)から半年ほどの間に AUV 部門の水中ロボットが, タイムを競い合うまで飛躍的に性能を向上させていることに驚かされた. まだまだ競技会は無理だろうということで水中ロボットの祭典と名付けられたイベントであるが, いまや競技会と呼んでも決して恥ずかしくないレベルになってきたことを大変嬉しく思う.

今回の水中ロボットフェスティバルは, 海上自衛隊, 三菱重工業(株), (株)川崎造船, 三井造船(株), 広和(株)の協力を得て, 盛大に行うことができた. 当日は, 掃海艇「くめじま」の一般公開もしていただき, 普段見ることのできない海上自衛隊の装備品を間近に見ることができて参加者は大喜びであった. 新型インフルエンザの流行で, 一時は開催も危ぶまれたが, 未就学児から高齢の方まで 240 名もの参加者を得ることができた. 賜朋会の諸兄や本学科の 1 年生, 2 年生も大勢駆けつけ, 暖かい声援をかけてくださった. 地道な活動ではあるが, 水中ロボットを通して, 船舶海洋工学に興味を抱く青少年が増え, 我が国の海洋産業を支える人材の育成に役立つことを願っている.

次回は, 平成 22 年 3 月 13 日(日)の水中ロボコン in JAMSTEC(神奈川県横須賀市)が予定されている. 神戸では, 国際シンポジウム Techno-Ocean2010 のイベントとして平成 22 年 10 月 16 日(土)に神戸市立ポートアイランドスポーツセンター(兵庫県神戸市中央区)にて Aqua Robot Competition(水中ロボット競技会)が開催される. 今度は AUV たちがどんな能力を見せてくれるのか, 今からとても楽しみである.

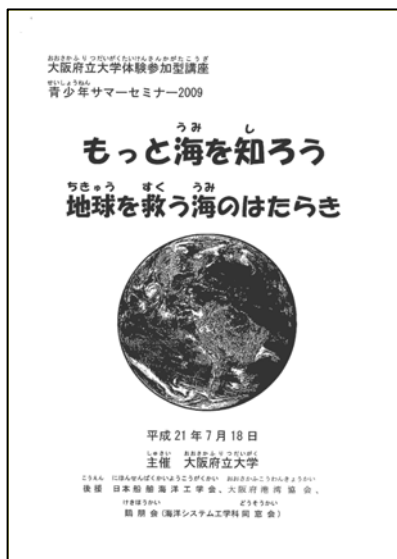
第 3 回水中ロボットフェスティバルに関する詳細は, 下記ホームページをご参照いただきたい.

<http://aquarobo.com/kobe09/>



—「海をもっと知ろう～海が地球を救う～」開催！—

片山 徹(大学41期)



本年も去る2009年7月18日(土)、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、「青少年サマーセミナー2009」を開催しました。本年度は開催内容に合わせて専用の実験スペースが必要となったので、学生会館(食堂)の南側にあるB3棟教育棟の生物実験室をお借りして、一日限りの開催となりました。小学生高学年を中心に22名の参加がありました。

今年度のテーマは2回目の開催となる「海をもっと知ろう～海が地球を救う～」で、博士役は大学48期の新井先生、司会進行役は博士前期課程1年生(大学57期)の三谷俊輔君と吉岡祐貴君でした。参加者3名に一名ずつ実験のお兄さん・お姉さんが一緒になって、午前中は、地球上に海があることが気温の急激な変化を抑制すること、二酸化炭素が海水に溶けて海洋植物によっても光合成が行われることを実験で体験し、さらに気候調節機能に占める海の役割についてのクイズ形式の講義を行いました。午後は、午前中の復習をしてから、エビ、水草、砂利をつかって小さなビーカー内にミニ生態系を作りました。

18回目となった今年も、各テーブルで子供たちの笑い声があふれ、とても楽しい一日になりました。本誌面をお借りして、本会の開催にあたりご尽力いただいた関係各位にお礼申し上げます。



空気だけのペットボトルと水の入ったペットボトル、温めると温度変化は？



二酸化炭素の入ったペットボトルを振ってみよう！ペットボトルはへこんだかな？



光合成で酸素ができたか確かめろぞ！

□日 時:7月6日(月)18:00-20:00

□場 所:大阪府立大学なかもずキャンパス A6 棟 2F 海洋システム工学分野会議室

□出席者:炭田洋一, 増田征二, 吉久英昭, 定兼廣行, 西田正孝, 岩崎泰典, 池田良徳, 藤原利弘, 三宅成司郎, 有馬正和, 山田智貴, 坪郷尚, 片山徹, 中谷直樹, 桂木哲雄, 松井敦, 谷口友基, 前川和也, 杉原拓匡, 吉岡佑貴(以上 20 名敬省略)

□資 料:

第 50 回理事会議事次第

第 50 回理事会出席者名簿

H20 年度会計報告書【資料(1)】

編集委員会報告【資料(2)】

工学部同窓会開催のお知らせ【資料(3)】

鷗朋会役員名簿【資料(4)】

全学同窓会の学友会(仮称)への移行について(補足説明と中間報告)

大阪府立大学基金 ~ご寄附のお願い~ パンフレット

1. 開会挨拶(片山理事)

2. 会長挨拶(定兼会長)

奥野学内理事の母校理事長・学長就任の報告、学友会(仮称)のお話、議案の活発な協議の依頼

3. 議長選出

岩崎副会長の選出。議長発案により協議事項のうちの審議事項を先に行うことになった。

4. 協議事項

(1) 審議事項

(a) 新理事の推薦

大 55 期松井氏(脇川氏と交代), 大 57 期杉原氏, 大 57 期吉岡氏が推薦された承された。

その後, 出席されている各理事の自己紹介を行った。

(b) 鷗朋会同窓会の開催について

11/1 に予定されている工学部同窓会後に, 奥野先生の

学長就任記念祝賀会を兼ねた鷗朋同窓会の開催が審議された承された。

白鷺祭期間中ということあって, 学内での会場の確保が困難であるため, 学外(大学近くのホテル)での開催を検討する。また費用は, この同窓会への参加費のみで行う予定。今後, 奥野先生の出席の可否を早急に確認した後, 鷗朋会理事メールリングリスト上で協議を進める。また, この時に資料3に基づき池田先生から第 1 回工学部同窓会の開催(鷗朋 14 号 17 頁の学内ニュース(行事)に速報)の経緯が報告された。

(c) 平成 20 年度会計報告

山田理事より平成 20 年度の予算報告があり承認された。

(2) 報告事項

(a) 編集委員会報告

三宅編集委員長より以下の報告された。

○「ニューズレター」第 6 号について説明があった。

➤ 奥野先生の学長選出の報告の速報。お祝いメッセージと学内情報の掲載

○「鷗朋」第 14 号について説明があった。

➤ 奥野先生の学長就任のメッセージ

➤ 教え子よりお祝いメッセージ

➤ 同窓生の各賞受賞報告

➤ 特集「大学 8 期生母校見学ツアー」

➤ 学内情報, 理事会報告, など

○次号, 「鷗朋」第 15 号の内容案について説明があった。

○表紙絵が不足している件は, 大学 1 期池島彊様から絵画の提供をいただける目途が見つかったことが報告された。

○定兼会長から, 同窓会中での同窓会誌「鷗朋」の重要性が説明され, 編集に対して積極的な参加が要請された。

○次号, 「鷗朋」第 15 号の発行タイミングが, 11 月開催予定の工学部同窓会・鷗朋同窓会の後になる。工学部同窓会の案内発送費は工学部同窓会が負担予定なので, ニューズレターを発行して案内として出すことも可能である。したがって, 編集委員会で対応を協議することになった。発送の目途は 8 月末~9 月となる。

- (b) 全学同窓会の学友会(仮称)への移行について
 定兼会長から現在協議が行われている、全学同窓会の学友会への移行について、以下の説明があった。
 ○学友会は同窓会の集合体ではなく、個々の個人が会員となる。
 ○大学と会員との連携促進を図り、大学のよき理解者としてその発展を支援することを目指す。
 ○当面の運営費は大学拠出金と新入生からの入会金で賄う。
 ○卒業生(会員)ネットワークの構築を重点的に行う。
 ○大阪市大、神戸大学学友会は会員数も多く組織として活発な活動を行っている。
 ○従来の学部レベル・学科レベルの同窓会の活動は従来通り
 ○資産引き継ぎ、会費徴収方法、名簿の管理やセキュリティ確保など、話し合わなければいけない課題は多い。

平成 20 年度会計報告書

(H.20.4.1-H.21.3.31 単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越	344,606	振込手数料	54,320
		通信費	230,310
同窓会会費	1,576,100	役員費	646,200
理事会参加費	42,000	会議費	123,650
		事務費	51,407
利息	781	印刷費	203,398
		備品費	0
小計	1,618,881	雑費	4,935
		小計	1,314,220
		次期繰越	649,267
合計	1,963,487	合計	1,963,487

- (c) 絵の寄贈について
 定兼会長から 16 期松野様から学科に絵の寄贈の申し出があったことが報告された。

5. 開会挨拶(片山理事)

以上

会 計 監 査	
大阪府立大学工学部	
賜明会 殿	
監事 江川 尚志	
城野 隆史	
平成20年度の同窓会会計につきまして、監査の結果、適正に管理運営されていることを確認いたしましたのでご報告いたします。	

△ ▼平成 21 年度分会費納入のお願い▼ ▲

同窓会費をまだお送りいただいていない方はできるだけ早く同封の振込用紙にて納入下さいますようお願い申し上げます。(平成 22 年 1 月末日未納の方には請求を同封しておりますのでご確認下さい。)

毎回催促がましくご請求申し上げ誠に心苦しいのですが、何分本会は皆様方からの会費のみで運営いたしております。なにとぞ御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

訃 報

造船1期	奥村 弘道 氏	(平成21年11月)
造船1期	小中 松三 氏	(平成21年3月1日)
造船1期	本村 民男 氏	(平成21年1月29日)
造船2期	柏谷 紀元 氏	(平成21年5月12日)
造船2期	宮坂 一善 氏	(平成20年8月30日)
造船3期	寺田 泰治 氏	(平成21年5月)
造船3期	山本 勇 氏	(平成21年)
造船4期	河原 義治 氏	(平成21年)
造船4期	酒井 雄一郎氏	(平成21年7月)
造船4期	田中 一夫 氏	(平成21年2月)
造船5期	堺 克也 氏	(平成20年5月)
大学5期	山野 昌弘 氏	(平成20年12月)
大学10期	大城 盛忠 氏	(平成21年8月29日)
大学10期	村尾 洋 氏	(平成21年)
大学11期	神尾 守正 氏	(平成20年7月17日)
大学11期	杉本 充男 氏	(平成19年10月26日)
大学18期	安藤 彰 氏	(平成21年9月2日)

本会はこの訃報に接し、謹んで哀悼の意を表します。

追悼

安藤 彰 理事のご逝去

安藤理事が、昨年、平成21年9月2日に急逝されました。安藤理事は昭和59年(1984)から今日に至るまで25年の長きにわたって理事を務められました。この間、同窓会の行事にも参加されて同窓会の運営に積極的に協力頂きました。本会は、これらのご貢献に深く感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

賜朋会会長 定兼廣行(大学15期)

編集後記:サギの生態観察

さて表題の「サギ」ですが、これは巻に横行している「オレオレ詐欺」の「サギ」ではなく、鳥の「サギ」の話題です。「オレオレ詐欺」の生態観察も非常に重要ですが、以下は近所の鷺のお話です。悪しからず。

私が住んでいる伊丹には昆陽池(コヤイケ)があり、たくさん水鳥が生息しています。そのためか、マンション直下の川にサギやらカモやら鶉やらがたくさんやってきます。これらを日ご一日観察していますが、案外飽きないものです。

インターネットからの知識によるとサギの仲間は多いようで、体がグレーのアオサギと白いシラサギに大別されるそうです。さらにシラサギは鳥体の大中小で区別されダイサギ・チュウサギ・コサギに分類されます。その他の亜種もたくさんいるようですが、近所に飛来するサギはアオサギが2羽、シラサギが6羽(ダイサギ4羽とコサギが2羽。コサギとダイサギは親子のように連れ立っているが、親子関係なのかは現在調査中で不明。)です。アオサギとダイサギは鶴に匹敵する首ながの大きな鳥で、きれいな飛行フォームをしています。その飛び方には、鶴とは大きな違いがあります。鶴は長い首を伸ばしたまま飛びますが、サギは長い首を器用にZ字にすくめてコンパクトな形で優雅に飛びます。この首すくめは、空気抵抗軽減のため？翼へ流入する流れをスムーズにするため？剥離の問題？これはちよいと、船体表面ならぬ鳥体表面回りの流れ解析をしてみないといけませんね。



昨年の12月末に、京都に2泊3日ののんびり旅行に行ってきました。帰宅した翌朝にふっと川面を見下ろすと、何とサギが30羽に増えているではありませんか。川面で、サギたちが狂喜乱舞しておる！何じゃ、この多さは！何が起こったのでしょうか？雛がたくさん孵った？北の方から越冬に伊丹まで来た？あるいは越冬の旅に出るために全員集合か？より深く観察しなくてはならない。ついでに、府大の白鷺門の由来についても調べてみようか。サギの小魚の捕食方法もサギ毎に違い結構面白いですが、誌面都合でカットします。

編集委員長 大学30期 三宅 成司郎



鷗朋会ニュース「鷗朋」第15号

2010年2月25日

発行：鷗朋会（けきほうかい）

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院工学研究科

海洋システム工学分野気付

TEL/FAX 072-254-9914

Email: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~web01/ob/index.html>

郵便振替口座番号 00970-7-126500

りそな銀行深井支店 普通口座番号 0060109

加入者名「鷗朋会」

印刷：(株)春日